

令和2年度 外国人研究者招へい事業(外国人招へい研究者(短期第1回)) 採用者一覧

氏名・国籍	受入研究者	専攻分野	研究課題	採用期間
GAJAHIN GAMAGE Tushara Chaminda スリランカ	中島 典之 東大・教授	環境負荷およびリスク 評価管理関連	スリランカ・ゴール地域の都市河川における微量汚染物質の動態	2020/06/03~2020/08/01 (60日間)
MUKHOPADHYAY Sandip Kumar インド	小川 浩史 東大・教授	環境動態解析関連	海洋と湿地環境における溶存有機物の動態の比較研究	2020/09/15~2020/11/13 (60日間)
POURKHEIRANDISH Mohammad イラン	小松田 隆夫 農研機構・主席研究員	遺伝育種科学関連	穀物の種子分散を制御する分子パスウェイの探索	2020/10/01~2020/11/29 (60日間)
CAMPBELL Hugh Roberts ニュージーランド	磯田 宏 九大・教授	農業社会構造関連	フードレジーム論の適用によるメガEPA下の国際農業食料関係再編の研究	2020/11/01~2020/11/30 (30日間)
THOMAS Philip John 英国	村上 道夫 福島県立医大・准教授	環境負荷およびリスク 評価管理関連	福島事故後の環境回復および帰還政策に関するJ値の最適化	2020/06/02~2020/07/01 (30日間)
MOSQUEDA Juan メキシコ	河津 信一郎 帯広畜産大・教授	獣医学関連	ゲノム編集技術を応用したバベシア症ワクチンの開発研究	2020/06/22~2020/07/31 (40日間)
AGHAJARI Nushin デンマーク	木村 淳夫 北大・教授	応用生物化学関連	糖質酵素GH97グループの分子機構の究明: 構造生物学的アプローチからの問題解決	2020/05/06~2020/06/06 (32日間)
JANTASURIYARAT Chatchawan タイ	池田 健一 神戸大・准教授	植物保護科学関連	細胞学的解析によるいもち病菌のエフェクター多型が病原性に及ぼす影響	2020/04/01~2020/05/30 (60日間)
PASZKOWSKI Uta anneliese maria ドイツ	白須 賢 理研・グループディレクター	応用分子細胞生物学関連	植物共生のケミカルバイオロジー	2020/04/01~2020/05/30 (60日間)
KHUWJITJARU Pramote タイ	安達 修二 京都先端大・教授	食品科学関連	希少糖の新たな生産法の開発と食品加工への応用	2020/04/01~2020/05/16 (46日間)
COOK Aonghais 英国	風間 健太郎 早稲田大・准教授	環境影響評価関連	洋上風力発電に対する日本の海鳥の脆弱性評価手法の確立	2020/07/15~2020/08/06 (23日間)
THEKISOE Oriel Matlhahane molifi 南アフリカ	玄 学南 帯広畜産大・教授	獣医学関連	南アフリカにおける牛バベシア症の流行実態の解明と制御対策の確立	2020/04/01~2020/05/30 (60日間)
WENGER John 英国	梶井 克純 京大・教授	環境動態解析関連	2次有機エアロゾル生成過程の機構解明と実大気中での実証実験に関する研究	2020/07/15~2020/08/15 (32日間)